

第1回北栄町男女共同参画審議会 報告

日 時	令和3年3月24日（水）19:00～20:10
場 所	北栄町大栄農村環境改善センター 会議室3
出席者	杉上潤子会長、池本博史委員、磯江華葉委員、磯江沙織委員、岩本裕久枝委員、岡崎由紀委員、権田正直委員（欠席2名） （事務局）企画財政課長 小澤、企画財政課政策企画室長 藤友

【日 程】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協 議
（1）第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組み状況について
- 4 その他
- 5 閉 会

【結果・意見】

- 3 協 議
（1）第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組み状況について

【意見】

○防災での男女共同参画

- ・災害が起きた時には避難所の運営が問題となっている。女性だったり、障がい者だったり、高齢者だだりの視点を生かした避難所の運営が重要。防災計画等を作るときにそういう意見を反映させることが必要である。

○年齢や発達に応じた男女共同参画の啓発、教育

- ・子どもの頃からの普及啓発がすごく大事。北栄町では子どもを対象に、LGBTの勉強を行ったり、認知症のサポーター養成研修を行ったりとすごく取り組んでいる。北栄町が行っている「お弁当の日」は香川県から始まって、全国で20ぐらいやっていると、とても良い取り組みだと思う。
- ・子どもは人のすることもよく見ている。こども園や小学校での学びが大事。
- ・子どものころから、LGBT等、世の中は男性と女性だけでないということを学ぶと一番受けやすい。みんな一緒なんだよと知ることが大切。
- ・絵本で学ぶなど、子供の興味を引くような取り組みをこども園でもしてほしい。多様性を認める社会になると思う。
- ・自分は11月に出産したが、産休しか取れなかった。大変だったが、夫が育児を手伝い、助けてくれた。年代が違くと「男にさせるなんて（男がするなんて）」みたいなことを言われることもある。今は男も育児をする時代となっていて、年配の人でもわかってくれる人もいるけど、そうでない人もいる。
- ・自分は60代男性である。今日は自分が孫のお風呂デビューを行った。ひどく泣かれたけれど。
- ・父は自分が子どものころには何もしてくれなかったが、孫にはしてくれる。何歳になっても考えは変わることがあると思ったら、発信することにも意味があるとすごく思った。最初は「怖い」「嫌だ」と言っていたが、してみたくなるよう。こちらも断るのではなく頼んでみる。そして、ありがとうとちゃんと感謝を伝える。それを続けていくことで、うまくいくの

ではないか。

○地域、職場での男女共同参画

- ・自分の自治会でも「支え愛マップ」を作った。この家にこんな人がおられたんだとか、この人は支援が必要だとかいうことを知ることは大事だと思った。幾ら宣伝してもそれが耳に入らなければ全く意味がない。男性も女性も分からないことを知る、聞くことが大切。小学生や中学生も分からないことやこういうふうにしたいなっていうことは、聞いたり自分で調べたりすることがすごく大事だと思った。
- ・男女共同参画推進会議と一緒に、自治会役員への女性登用の取り組みをしているのはすばらしいと思う。どこの町でも苦勞していることを、問題ととらえて真正面からやっている。
- ・ワークライフバランスの部分で驚いたのが、「北栄町マタニティささえあい補助金」のこと。このコロナの関係で休業するけど、賃金はどうしたらよいかというような相談は結構多かった。また、学校が休校になっているので仕事を休みたいが、有給になるのかという女性からの相談も多かった。町が取り組んで、企業にこういう制度がありますよと言えるのは、良いことだと思う。

○その他

- ・よく取り組んでいると感じた。特に、審議会の女性登用率や女性の管理職の率は、県内でも2位や3位と良い。そういうことを備考欄に記載しても良いのでは。この実績数値がどれくらい的位置なのかというのも皆さんがわかるのでよいと思う。
- ・たくさんの取り組みがあるが、知らなかった。町報等では紹介されているが、自分は町報はあまり見ない。ケーブルテレビをよく見ているので、そちらの方が見やすいと感じている。

4 その他（事務局より）

- ・現行計画が来年度で終了。来年度は、次期計画を策定する。
- ・本日いただいたご意見を次期計画にも反映できるよう、引き続き取り組んでいきたい。